

センターだより

令和4年9月15日 No. 75
東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 今 井 宏 明
指導主任 松 澤 朗
事 務 石 橋 牧 子

「三地区合同研修会」開催のお知らせ

一昨年度から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で、東濃西部少年センターとしての行事に多少の支障が出ています。しかし、今年度は3年ぶりに「新任指導者研修会」が開催でき、参加された新任指導員の方々からは、「声かけ活動の参考になる話が聞けて、とても良かった」という感想を沢山いただき、「開催できて良かった」と思っています。

「三地区合同研修会」において、昨年度は期日を延期して開催し、こちらにも「講師の先生のお話がとても良かった」というお声を頂きました。

今年度も開催ができるか心配していましたが、昨年同様にソーシャルディスタンスに配慮した上で、予定通り開催をしようと思っています。詳細については、以下の記載のようになっています。

コロナ禍ということでもありますので、ご自身の体調やご家族・職場での状況から、無理のない中で参加いただければ幸いです。

今回の研修会の講師には、「井戸 宏子 様(公認心理師&臨床心理士)」をお迎えします。長年、スクールカウンセラーとして、多くの子ども・若者たち並びにその保護者や教員の方々と関わってこられた経験の中からお話を伺います。

指導員という立場だけではなく、親として家族として、地域の一員としての立場からも、子ども・若者を理解するきっかけとして、今後の声かけ活動の参考になるのではないかと思います。



(令和3年度三地区合同研修会より)

・日 時 令和4年10月8日(土) 9時45分～12時00分
(受付 9時30分～ 会場前にて)

・会 場 セラトピア土岐 3F 大会議室
土岐市土岐津町高山4 (☎ 0572-54-2120)

・講 話 演 題 「現代の子ども達を知る」
井戸 宏子 様 (公認心理師&臨床心理士)

「高校生（瑞浪高校）（多治見西高校）による啓発活動」

6月24日午後4時から、瑞浪駅前瑞浪高等学校のMSリーダーズのメンバー17名が、「青少年の健全育成」のために、「東濃西部少年センターへの相談及び情報交流」の呼びかけ活動を実施して頂きました。

その際、少年センター作成の「モバイルクリーナー」を配布しましたが、受け取って頂いた方々からは、「スマホの画面を拭くのに便利」「メガネのレンズがきれいになる」と喜んで頂きました。

瑞浪高校の生徒さんには、前回の4月22日に続いて今年2回目の取り組みをして頂き、とても感謝しています。



多治見西高等学校並びに多治見西中学校のMS・MSJリーダーズの皆さんによる「交通安全県民運動」が7月11日・12日に行われました。

朝7時30分から小泉駅前・学校校門前など学校周辺に分かれ、鈴木校長先生・生徒指導主事の三和先生・担当の先生方と一緒に啓発活動を行いました。

この日は「ゆずりあう心で夏の交通事故防止」をスローガンとして、以下の4項目を運動の重点とし、交通量の多い国道248号線を中心に啓発活動を行って頂きました。

その際、東濃西部少年センターが作成している「モバイルクリーナー」の配布も協力して頂き、感謝しています。

- ① 子どもと高齢者の交通事故防止
- ② 横断歩道における歩行者最優先の徹底
- ③ 全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- ④ 飲酒運転等の危険運転の防止

「東濃西部少年センター（事務職員）異動のお知らせ」

東濃西部少年センターは、所長・指導主任・事務職員の3名で業務を運営しています。この9月より事務職員が新しく「石橋牧子」になりました。

石橋事務職員につきましたは、特に少年センターの事務手続きなどを中心に行っています。今後におきましては、少年センター窓口並びに電話対応などでお世話になります。よろしくお願いたします。

「東濃西部少年センターへの相談・あれこれ」（4月～9月）

今年度からは、関係機関への訪問相談をこれまで以上に積極的に実施し、利用して頂いています。

少年センターへ相談及び連絡をいただいている中で、連絡者の方のご理解を得ている内容について、一部紹介をさせていただきます。

○各市には、「公民館」「児童センター」など、小・中学生が利用する施設がたくさんあります。そうした施設の業務に携わって見える職員の方からの相談です。

「施設内では、子どもたちに関わる様々な問題が起きています。そうした場合には、保護者や場合によっては学校の先生方や関係機関との連携を大切にして取り組んでいます。そうした際に気を付けた方がいいポイントなどを教えてください。

○高校3年生の生徒からの相談です。

「進路選択において、自分の思いと共に、親や学校の先生、塾の先生と相談しています。それぞれ違った考え方やアドバイスなので迷い悩んでいます。」

少年センターと同じフロアにある「学習室」で勉強をしていた高校生が訪問してくれました。この時は、「聞き手」に専念し、高校生の表情が明るくなったことを見届けて相談を終えました。

「話に来てよかった」と言ってもらうことができ、嬉しかったです。

○上記の「高校3年生の生徒」の相談終了の20分後に、先ほどの生徒の友達が相談に来ました。

「さっき、友達が『話を聞いてもらって良かった』と言っていたので、僕の話も聞いてもらえますか」と言って、相談に訪れてくれました。

「高校3年生でバスケットボール部に所属しています。インターハイ予選も終わってしまい引退になりました。自分は大学でもやりたいけど、親は反対しています。親に賛成してもらうためにはどうしたらいいですか。」

この生徒と話していて、「インターハイ予選の応援にも駆けつけてくれ、部活動についても中学校時代から熱心にサポートしてくれていたご両親」ということが分かりました。「これまでのサポートへの感謝の気持ちをしっかり伝え、将来に向けての自分の思いを聞いてもらっては…」と話しました。

少年センターの職員としては、友達から紹介されて今回相談してくれたことがとても嬉しかったです。以前から、こうした「広がりのある相談」を目ざしていました。

○高等学校の教員採用試験（二次）を受けられる方が少年センターにみえて、「面接試験の参考にしたいので、アドバイスを頂けますか。」という相談を受けました。

学生さんではなく、現在は社会人として働いてみえる方で、転職を考えているとのことでした。その勇気と教師をめざす熱意に感心しました。

高校教師をめざす上で、学校社会とは違った、社会人としての視点や経験がとても貴重だと思いました。三日後に二次試験ということでしたので、良い結果が届くことを願っています。

「令和4年度 新任指導員研修会」

令和4年5月7日（土）「ヤマカまなびパーク」において、令和4年度の東濃西部少年センター「新任指導員研修会」を開催しました。

講師には、田中聡さん（岐阜県警察本部生活安全課少年部）をお招きし、「街中での声かけ活動のポイント及び配慮事項など」についてお話を頂きました。

今後の声かけ活動の際、とても参考になる良い貴重なお話でした。

研修会終了後、一人の指導員の方が田中さんのところに行かれ、「とても勉強になりました。我が子が通う小学校にもお話に来ていただきたいです。」と話されていました。

その後、私たち職員のところにもおみえになり、「とてもいい話でした。参加してよかったです。」と伝えて頂きました。特に、初めて指導員になられた方には、とても有意義な研修会であったようです。



「声かけ活動の取り組みについて」

コロナ禍や残暑厳しい中、指導員の方々には、熱心に「声かけ活動」を行っていただき、とても感謝しています。ありがとうございます。

活動の実施の際には、健康面への支障がないよう班長さんを中心に取り組んでいただいています。それぞれのご家庭や職場での状況も異なります。これまで同様、無理のない中でお力を貸していただければと考えています。

まだまだ「コロナ禍」に対する注意や今後は冬場に向けての寒さや日没が早くなり暗い夜道での取り組みなど、気を付けなくてはならないこともありますので、お気をつけて活動して頂くようお願い申し上げます。

「帰りたい家庭・通いたい学校・住みたい地域」

☆「楽しい話題」「伝えたい情報」「ちょっとした悩みごと」

（身近な出来事など、連絡・相談ください）

「東濃西部少年センター」

0120-873-246（携帯からもOK）

anshin55@crux.ocn.ne.jp（24時間受付）

相談時刻・メール返信は、10時～17時（日・月休み）